

岐阜保健大学大学院

看護学研究科看護学専攻(修士課程)

■ 看護学研究コース

■ 保健師コース

■ 助産師コース

Guide Book 2026

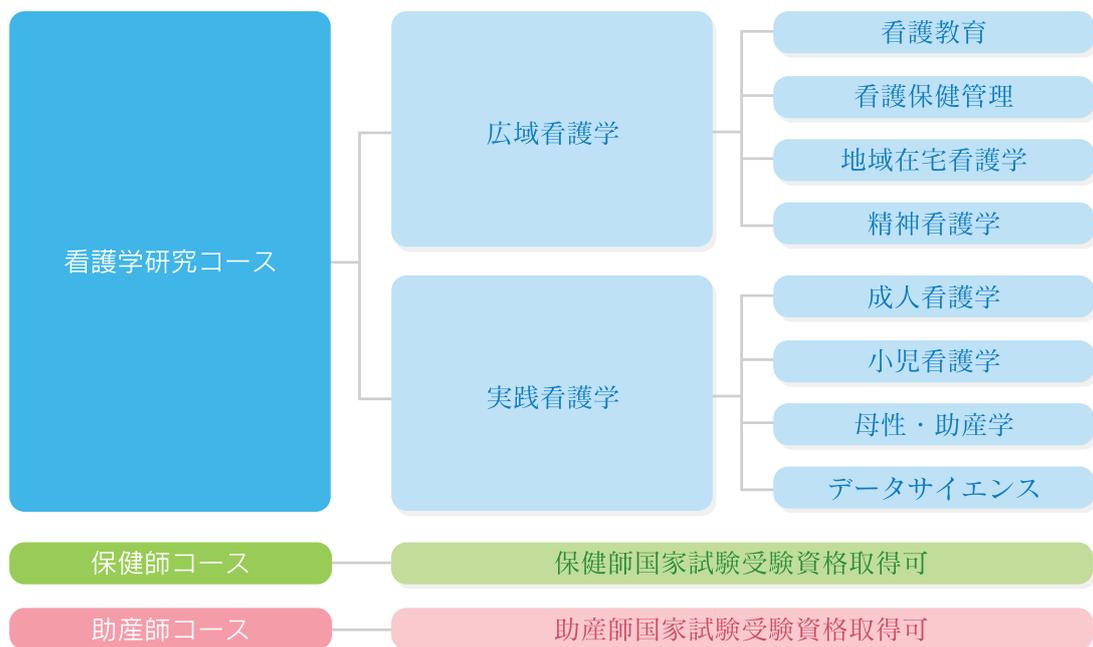
GIFU UNIVERSITY OF
HEALTH SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF NURSING

各コースや専門領域での「特別研究」や「課題研究」を通じて、専門的な学びをさらに深めることができます。その成果として、「修士（看護学）」の学位を取得することが可能です。

岐阜県下初の大学院として 「保健師養成課程」「助産師養成課程」を設置

募集人員	看護学専攻13名(修業年限 2年)	内 訳	看護学研究コース	4名
			保健師コース	5名
			助産師コース	4名(女性に限る)

専門分野・領域



<認定看護管理者の受験資格について>

本大学院に2年以上在学し、看護管理・教育学領域を含め30単位以上を修得した場合、修士(看護学)の学位が得られます。日本看護協会が定める受験資格を満たすことで、認定看護管理者認定審査受験資格を得ることができます。

学長よりご挨拶



少子高齢化により我が国は医療の変革の時代となり、さらに、近年の世界的なコロナ禍により医療が複雑化しています。こうした社会変移のニーズに対応しうるリーダー的な看護人材の育成と、多様性に応じる質の高い教育研究が求められています。本学の大学院修士課程では、このように変動する医療に対応して、高度な看護実践や看護管理、教育・研究を遂行できる人材を育成し、看護学の理論的基盤の構築や看護実践の質の向上を目指した研究を行う能力の育成を目的としています。キャリアアップを考えている皆さん、是非本学の大学院で、高度な看護実践力の修得や看護の知的探究をしましょう。私たち教職員は共に考えながら、できる限りの支援をいたします。

岐阜保健大学 学長・教授 河田 美紀



岐阜保健大学大学院は、地域の健康と福祉を支える看護専門職の育成を目的とした教育の場です。

建学の精神

命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成

教育理念

生命の尊厳と人権の尊重を基盤に看護職としての深い学識及び卓越した能力を養い、高度にして専門的な学術の理論及び応用を学修し、その深奥を深め健康課題への取り組みを通して社会貢献と地域の発展に寄与することを教育理念とする。

養成人材像

看護の高度な専門的知識と高い技術を基盤とし、エビデンスに基づいた看護の研究能力を身に付けるとともに、多様かつ幅広い視点から看護の課題解決や改善に取り組める科学的思考力と実践能力、さらに高い倫理観を兼ね備えた、看護実践のリーダー、看護管理者、看護教育者、及び看護専門職として機能できる人材を養成する。

養成する能力

- 1 看護実践の改善力**
看護を提供する場の力動を構造的に把握し、改善に向けて組織的に取り組むことができる能力
- 2 看護実践を研究につなげる研究基礎力**
看護の実践・教育・管理の改善・改革をめざした研究の取り組みができる能力
- 3 多職種・市民との連携力・調整力**
研究的視点をもって多職種・市民と共同してサービスの変革に取り組むことができる能力
- 4 地域に根ざした質の高い看護実践力の向上**
看護現場や教育現場で看護職者のリーダーや教育者として機能できる能力

アドミッション・ポリシー

岐阜保健大学大学院看護学研究科修士課程では、教育理念を理解し、本研究科への入学を希望する次のような学生を求める。

- ① 看護実践力を高め社会貢献したいと考えている者
- ② 看護実践を研究につなげる志向を持っている者
- ③ 看護実践の質を高めたいと志向している者
- ④ 看護学研究コースは、医療チームの中で、多職種と連携し高度な専門的知識を基盤に、リーダーシップを発揮したいと考えている者
- ⑤ 保健師コースは、地域のマネジメント力を高め、地域住民の健康増進に寄与したいと考えている者
- ⑥ 助産師コースは、母子の健康問題を診断し、地域の周産期医療チームのマネジメントを携わりたいと考えている者

看護学研究コース

看護学研究コースの特徴

加速する少子高齢化や自然災害、新種の感染症等により、高度化・複雑化・多様化する役割に対応できる高度な知識や実践能力を有した看護管理職、現場のリーダー、看護教育者の養成を通して地域・社会に貢献していくことをその趣旨・目的としています。

看護学研究コース 広域看護学領域・実践看護学領域

広域看護学領域では政策や教育、実践看護学領域では臨床や地域に焦点を当てた学びを展開しています。

看護学研究コース 広域看護学領域

修業年限 2年

修得単位数

看護学研究コース 30単位

学位

修士(看護学)

変化する社会の要請に応える看護の組織化とそれを支える看護職のキャリア開発、次世代の人材育成のあり方を追究します。併せて行政をはじめとするさまざまな機関における看護政策の策定やその評価、および新しい看護職の機能や組織化に着目し、看護管理および教育の開発につながる研究を目指します。

特徴

- 1) 看護管理および看護教育学を専門とする教員と共に学び、探究を深めることが特徴
- 2) 地域・在宅看護学、老年看護学、精神看護学、成人看護学、小児看護学、母性・助産学など多岐にわたる分野の学び直しが可能であることが特徴
- 3) 臨床や地域で活動する看護職の研究力を育成できることが特徴
- 4) 働きながら夜間に学び続けられることが特徴
- 5) 学び直しとキャリア形成を支援できる柔軟な設計が特徴

修了後に期待される役割

- 1) 専門知識とスキルを備え、医療・保健現場で即戦力となる看護職
- 2) 看護の知識を深め、未来の看護職を育成する教育者・研究者
- 3) 現場経験を活かし、医療・看護チームをまとめるマネージャーやリーダー

看護学研究コース 実践看護学領域

修業年限 2年

修得単位数

看護学研究コース 30単位

学位

修士(看護学)

さまざまな臨床現場の看護実践における新たな看護支援方法を探究する。保健医療福祉政策の動向を見据え、新たな看護ニーズを先取りして看護実践の発展を目指します。本領域には、主に健康状態や発達段階等の対象特性ならびに看護援助の特徴を踏まえ、地域や家庭における個人や集団の自主的な予防的取組みへの健康生活支援と複雑な健康問題や障害をもつ個人や家族の QOL を高めるよう療養生活支援の研究を目指します。

特徴

- 1) 健康状態や発達段階などの対象特性について、教員と共に学び、探究を深めることが特徴
- 2) 地域・在宅看護学、老年看護学、精神看護学、成人看護学、小児看護学、母性・助産学など多岐にわたる分野の学び直しが可能であることが特徴
- 3) 臨床や地域で活動する看護職の研究力を育成できることが特徴
- 4) 働きながら夜間に学び続けられることが特徴
- 5) 学び直しとキャリア形成を支援できる柔軟な設計が特徴

修了後に期待される役割

- 1) 専門知識とスキルを備え、医療・保健現場で即戦力となる役割
- 2) 看護の知識を深め、未来の看護職を育成する役割
- 3) 保健医療や福祉の幅広い現場で、看護チームをまとめ、質の高い看護ケアを提供する役割

養成人材像

- 1) 看護の知識・技術を基盤に看護学の学識を深めることができる人材
- 2) グローバルな視点で看護の問題解決や改善に取り組む科学的思考力を持つ人材
- 3) 高い実践能力を備えた人材
- 4) 倫理観が高く、管理者や教育者として機能できる人材



看護学研究コース 教員紹介



副研究科長・教授 藤原 奈佳子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士(医学)

研究テーマ等

- ・地域における保健・医療・福祉を包含する社会資源の効果的なマネジメントに関する研究
- ・保健・医療・福祉をつなぐ健康増進に関する研究



教授 鈴木 岸子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士(看護学)

研究テーマ等

- ・家族介護者の介護負担に関する研究
- ・介護予防・日常生活支援総合事業に関連する研究
- ・認知症の方への意思決定支援に関する研究



教授 柿原 加代子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士(福祉マネジメント)

研究テーマ等

- ・ケアリング理論に関する研究
- ・看護師の生涯学習 NBL (Nursing Based Learning) に関する研究



教授 小萱 康德 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士(歯学)

研究テーマ等

- ・看護の視点からみた人体構造機能学
- ・フィジカルアセスメントに対する人体構造機能学の教育効果
- ・血中カルシウム濃度調節機構と脊椎動物の系統進化的並びに個体発生学的研究



講師 長屋 央子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士(看護学)

研究テーマ等

- ・向老期における健康行動に関する研究
- ・在宅療養移行支援における看護研究

教授 粟津 昌枝 特別研究、課題研究担当教員

学位 修士(医療・福祉マネジメント)

准教授 村瀬 ゆかり 課題研究

学位 修士(看護学)



教授 山本 澄子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士(学術)

研究テーマ等

- ・看護基礎教育の技術習得法
- ・看護学生の自尊感情の変容と学習への影響
- ・看護職と看護教育に関する研究



教授 多喜田 恵子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士(社会福祉学)

研究テーマ等

- ・精神障害をもつ当事者および家族の支援
- ・看護職のメンタルヘルス
- ・看護におけるグループアプローチ



教授 永坂 和子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士(医療・福祉マネジメント)

研究テーマ等

- ・排泄障害に関連した看護
- ・ケアミックス病院における看護管理
- ・ケアの質を高めるためのマネジメント研究



准教授 高久 道子 課題研究

学位 修士(看護学)

研究テーマ等

- ・HIV 感染症の予防
- ・在日外国人の健康課題に関する研究

教授 野田 みや子 特別研究、課題研究担当教員

学位 博士(心身健康科学)

教授 栃本 千鶴 特別研究、課題研究担当教員

学位 博士(学術)

准教授 石田 美知 課題研究

学位 修士(人間文化)

講師 清水 ゆかり

学位 修士(看護学)

修了生 VOICE



看護学研究コース2022年度修了
S.M. さん
〈就職先〉岐阜保健大学看護学部教員

看護学研究コース

私は大学院看護学研究コースを修了し、本学の教職に就いて日々実習指導に奮闘しています。大学院では多くの論文や本と出会い、院生とのディスカッションでは互いの知見を分かち合い、刺激を受けながら考えを深め合うことができました。この経験はこれからの糧となる大切な時間であり、大きな発見でした。また、修士論文の研究にあたっては先生方の温かいサポートで自分の研究疑問を明らかにすることができました。2年間の学びで人に伝えることの難しさや必要性を痛感したことから、教育現場で学生と向き合いながら生き生きと学べるように支援する存在でありたいと考えています。修士課程での経験とそれ以前の臨床経験を存分に発揮し、自己成長をすると共に看護学を探求し続けたいと考えます。

保健師コース

保健師コースの特徴

保健師は、「地域」を対象としてそこに暮らす人々の健康を共に考え、支える看護職です。しかし、近年取り組むべき健康課題は多岐にわたり、複雑困難になっています。それらに対応できる保健師を大学院で養成します。

保健師コース

修業年限 2年 修得単位数 看護学研究コース30単位 保健師コース33単位 合計63単位

学位 修士(看護学) 取得資格 保健師国家試験受験資格

大学院で保健師をめざす道を歩みませんか？

1 学年5人程度の定員に対し4人の教授で支援し、実践力を養います。研究については、研究計画、論文作成から研究発表まで一連の流れの中で研究もできる保健師を育成します。また医療機関勤務等の経験から疑問に思ったこと等を、予防的視点で研究することもサポートします。

修士(看護学)学位と保健師国家試験受験資格を同時に得ることは、学部教育とはひと味ちがう充実感が得られることでしょう。

保健師コースの特徴

- 1) 行政機関や産業機関などで経験を積んだ教授4人による指導が受けられのが特徴
- 2) 2年間で修士課程(看護学)と保健師課程(保健師国家試験受験資格)を同時に修了できるのが特徴
- 3) 大学内のシミュレーションセンターで多職種の機関と協力し、保健師として必要なマネジメントやリカレント教育を学べるのが特徴
- 4) 大学内の研究センターで健康教育や地域活動に関する演習を行い、教員と学生が1対1で指導を受けられるのが特徴

保健師コースの養成人材像

- 1) 統合された知識、技能、態度に基づき、根拠に基づいた公衆衛生看護専門職として役割を果たす人材。
- 2) 社会的公正を活動の規範とし、地域、職場、学校での人々の健康な生活と Quality of Life 健康課題対応能力と研究遂行能力のある人材。
- 3) 健康危機管理能力や健康課題対応能力を学び、研究遂行能力のある人材。
- 4) 倫理的意思決定能力を備え、地域に貢献できる人間味のある人材。

修了後に期待される役割

- 1) 行政機関や産業保健機関、医療機関、福祉機関で専門的な知識を活かし、職業人として活躍する役割
- 2) 地域の専門機関において、マネジメントや調整能力を発揮し、組織を円滑に運営する役割
- 3) 幅広い知識と実践力を活かし、地域住民の健康課題に寄り添い支援する役割

保健師コースよりご挨拶



少子高齢化を始め、様々な問題が健康格差をもたらしています。国民の抱える健康課題も複雑困難な課題が増加しています。

このような情勢の中、地域住民の健康をまもり、地域ケアシステムの構築に寄与するのが保健師です。保健師は対人保健サービスのみならず、グループ支援、地域支援を柔軟性、マネジメント力をもって地域活動を展開していきます。

時代と社会のニーズに対応できる保健師を目指し、学んでいきましょう。皆さまのチャレンジをお待ちしています。

保健師コース 教授 析本 千鶴



実習機関

- | | |
|-------------|-----------------------|
| ① 岐阜県立保健所 | ⑤ 岐阜市小・中学校 |
| ② 岐阜市保健所 | ⑥ 岐阜保健大学保健センター |
| ③ 岐阜市保健センター | ⑦ 岐阜車体工業株式会社 |
| ④ 笠松町保健センター | ⑧ 訪問看護ステーション太陽住宅ケア事業所 |

将来の展望

保健師免許取得後、
・行政機関 ・企業などの保健師業務 ・大学研究者など

保健師コース 教員紹介



教授 枡本 千鶴 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士(学術)

研究テーマ等

- ・地域住民への自助・互助のリテラシーによる在宅療養継続支援
- ・地域住民へのセルフコントロール介入研究



研究科長・教授 石井 英子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士(学術)

研究テーマ等

- ・公衆衛生看護活動の実践を通して、地域の健康増進システムの開発・主に外国人の結核状況の分析、ダブルケアにおける保健師の役割、ALSを支えるケアシステム支援に関する研究



教授 藤丸 郁代 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士(生命医学)

研究テーマ等

- ・ヤングケアラーに関する研究
- ・大学生や地域住民の生活習慣に関する研究



教授 粟津 昌枝 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士(医療・福祉マネジメント)

研究テーマ等

- ・自治体保健師のキャリア形成に関する研究
- ・親子の絵本の読み聞かせと育児行動や児の精神発達に及ぼす影響の研究

修了生 VOICE



保健師コース
2022年度修了
K.U. さん
〈就職先〉
福井県若狭健康福祉センター
(保健師)

保健師コース

大学院では少数で講義が行われることから、先生との距離が近く、相談や質問がしやすい環境が整えられています。大学院の2年間は研究や実習、就職活動など多忙だと思いますが、その分やりがいを感じられますし、保健師活動を詳しく学べます。

私は現在、福井県若狭健康福祉センター(若狭保健所)地域保健課・健康増進グループの一員として主に精神保健と感染症保健などの業務に従事しています。日々の業務では覚えることが多く、戸惑うこともあります。優しい先輩方や上司の皆さんに支えられながら、同期の保健師とともに頑張っています。

保健師の活動についてじっくり深く学びたい方は、ぜひ大学院に進学し、2年間の学びを通して地域に貢献できる保健師を目指してみませんか？

助産師コース

助産師コースの特徴

新しい時代を駆けぬける助産師、
不確実な時代に対応できる助産師を目指します。
大学院教育では、どんな状況でも出産する女性と家族に寄り添い、
ケアする能力をもつ助産師を養成します。

助産師コース

修業年限 2年 **修得単位数** 看護学研究コース30単位 助産師コース33単位 合計63単位

学位 修士(看護学) **取得資格** 助産師国家試験受験資格

大学院で助産師をめざす道を歩みませんか？

1 学年4人程度の定員にたして4人の教員で支援していきます。助産師コースでは昼開講の2年制となり、助産師国家試験受験資格を得るための必要科目の履修とともに、助産を取り巻く様々な看護現象とその背景にある看護理論を関連させて考察し、助産分野を科学的にとらえ、解釈する力を養うことを目指します。

修了時には、修士(看護学)学位と助産師国家資格とともに、高度な助産実践能力、問題解決能力、カウンセリング能力、家族・地域社会をとらえた活動能力を修得することを目指します。

助産師コースの特徴

- 1) ウィメンズヘルスケアに重点を置き、高度な助産診断や技術を学び、実践能力を身につけられる特徴
- 2) 2年間で修士課程(看護学)と助産師課程(助産師国家試験受験資格)を同時に修了できるのが特徴
- 3) 正常な妊娠・分娩・産じょくや新生児のアセスメント能力、助産診断を学び、ハイリスク時の支援技術や出生診断書の記載を習得できる特徴
- 4) 施設の助産部門の管理や助産所の開設・経営を目指し、母子保健システムの発展に貢献できる実践力と統率力を基礎から学べる特徴
- 5) 大学内の最新設備を備えたシミュレーションセンターや研究センターで、地域や多職種と協働し、途切れない母子と家族支援を演習を通じて学べる特徴

助産師コースの養成人材像

- 1) 母性看護・助産学の領域で質の高い実践能力を備え、実践体制の改善や指導的役割を果たす人材。
- 2) 基礎助産学や周産期医学の新知見を学び、女性のセルフケアや自己決定能力を支援できる人材。
- 3) 生命の尊厳を基盤に高い倫理観をもち行動できる人材。
- 4) 持続可能な行動目標に向かい、地域において母子保健の発展に貢献できる人間性豊かな人材。

修了後に期待される役割

- 1) 女性や子ども、その家族の命を守り、健康を支える活動を創造的に行える役割
- 2) グローバルな視野で、多様な価値観を理解しながら、少子化社会における母子保健の改善に貢献できる役割
- 3) 助産の専門知識と実践力を活かし、多職種と協力してハイリスクな事例や地域の健康課題を解決できる役割

助産師コースよりご挨拶



with コロナ時代に入って1年、制約のある中で女性による出産は続いており、助産師は女性と家族に寄り添っています。1年の後半から実習が始まりますので、母子の安全が守られ、妊産婦や家族、そして臨地の助産師から信頼が得られるよう大学院生全員が、一日一日を努力しています。

本学の大学院生達は、ヒトの始まりである「赤ちゃんの心と体」をみつめ、助産学診断と助産の技を日々培っています。あなたも、私たちと一緒に「助産師への道」をめざし、大学院助産師コースで、新たな知見を得るために、あなたの人生に目標を一つ書き添えてみませんか。

どうぞ、本学を受験されることを心よりお待ちしております。

助産師コース 教授 野田みや子



実習施設

- ① 名古屋大学医学部附属病院
- ② 名古屋第一赤十字病院
- ③ アイレディースクリニック
- ④ 広川レディースクリニック
- ⑤ 鈴木病院
- ⑥ かおり助産院
- ⑦ 岐阜保健大学研究センター

将来の展望

病院や診療所、助産所、保健所、その他のサービスの場での助産業務や大学研究者など

助産師コース 教員紹介



教授 野田 みや子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士(心身健康科学)

研究テーマ等

- ・ マタニティ・ヨガの妊娠分娩への影響
- ・ 小児虐待・小児の入院環境
- ・ 助産師の災害支援に関する研究



准教授 石田 美知 課題研究

学位 修士(人間文化)

研究テーマ等

- ・ 看護学生の死生観、産後ケアに関する研究
- ・ 子育て支援、ジェンダーに関する研究



准教授 村瀬 ゆかり 課題研究

学位 修士(看護学)

研究テーマ等

- ・ 産褥早期の母乳不足感
- ・ 母乳育児支援に関する研究



講師 清水 ゆかり

学位 修士(看護学)

研究テーマ等

- ・ 包括的性教育に関する研究
- ・ ジェンダーに関する研究



助教 森田 真矢

学位 修士(看護学)

研究テーマ等

- ・ 日本において妊娠、出産、育児を経験する外国人女性への支援に関する研究

修了生 VOICE



助産師コース2022年度修了
C.O. さん

〈就職先〉
名古屋市立大学医学部附属
西部医療センター(助産師)

助産師コース

私は、岐阜大学医学部看護学科を卒業し、岐阜大学医学部附属病院の新生児集中治療部(NICU)で4年間看護師として働いていました。

大学院に入学し、助産師課程の多くの講義や課題、実習に加え、修士論文完成に向けた2年間はとても濃い時間でした。最後の演習では、自分達の考える助産師の役割を院生仲間で話し合い、これからの助産師の目指す姿を考える機会となり、印象に残っています。修士論文は、研究の方法論から講義があり、先生方から丁寧なご指導をうけて学位取得が叶いました。岐阜大学医学部附属病院の勤務経験と、大学院生活で得た力と、母乳に関する修論研究を活かし、今後は名古屋市立大学医学部附属西部医療センターで助産師として「赤ちゃんにやさしい病院BFH」の臨床現場で頑張ります。皆様も助産師コースを受験し頑張ってください！

専門分野 教員紹介



学長・教授 河田 美紀 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士(医学)

研究テーマ等

主に高齢者の呼吸器系の疾患と治療との関連、予後からみた肺がん検診の意義についての研究



顧問・教授 永井 博弐 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士(薬学)

研究テーマ等

医療・看護現場にみられるアレルギー疾患の発症機序と予防・ケア、アレルギー疾患治療薬の開発・適正使用に関する基礎的研究、免疫学を基礎とした予防医学に関する研究



教授 太田 美智男

学位 博士(医学)

研究テーマ等

感染症・感染管理・栄養などの基礎から臨床について広く研究。さらに医療安全にも関心をもっています



教授 國澤 英雄

学位 博士(工学)

研究テーマ等

医療経営・看護マネジメントなどの研究



教授 河田 好泰

学位 博士(医学)

研究テーマ等

・職業性腰痛の発生過程、原因及び治療効果の研究
・ロコモティブシンドローム予防と啓発活動の研究



教授 豊田 育子

学位 修士(人的資源)

研究テーマ等

グローバルで多様な視野から、超少子化社会に於ける母子保健活動に関する研究

研究科長・教授 石井 英子 特別研究、課題研究担当教員

学位 修士(学術)

研究テーマ等

公衆衛生看護活動の実践を通して、地域の健康増進システムの開発・主に外国人の結核状況の分析、ダブルケアにおける保健師の役割、ALSを支えるケアシステム支援に関する研究

副研究科長・教授 藤原 奈佳子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士(医学)

研究テーマ等

・地域における保健・医療・福祉を包含する社会資源の効果的なマネジメントに関する研究
・保健・医療・福祉をつなぐ健康増進に関する研究

教授 鈴木 岸子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士(看護学)

研究テーマ等

・公衆衛生看護活動の実践を通して、地域の健康増進システムの開発・主に外国人の結核状況の分析、ダブルケアにおける保健師の役割、ALSを支えるケアシステム支援に関する研究

教授 山本 澄子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士(学術)

研究テーマ等

・看護基礎教育の技術習得法
・看護学生の自尊感情の変容と学習への影響
・看護職と看護教育に関する研究

教授 尋喜田 恵子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士(社会福祉学)

研究テーマ等

・精神障害をもつ当事者および家族の支援
・看護職のメンタルヘルス
・看護におけるグループアプローチ

教授 柿原 加代子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士(福祉マネジメント)

研究テーマ等

・ケアリング理論に関する研究
・看護師の生涯学習 NBL (Nursing Based Learning) に関する研究

教授 永坂 和子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士(医療・福祉マネジメント)

研究テーマ等

・排泄障害に関連した看護
・ケアミック病院における看護管理
・ケアの質を高めるためのマネジメント研究

教授 野田 みや子 特別研究、課題研究担当教員

学位 博士(心身健康科学)

研究テーマ等

・マタニティ・ヨーガの妊娠分娩への影響
・小児虐待・小児の入院環境
・助産師の災害支援に関する研究

教授 藤丸 郁代 特別研究、課題研究担当教員

学位 博士(生命医科学)

研究テーマ等

・ヤングケアラーに関する研究
・大学生や地域住民の生活習慣に関する研究

教授 栗津 昌枝 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士(医療・福祉マネジメント)

研究テーマ等

・自治体保健師のキャリア形成に関する研究
・親子の絵本の読み聞かせと育児行動や児の精神発達に及ぼす影響の研究

教授 小萱 康徳 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士(歯学)

研究テーマ等

看護の視点からみた人体構造機能学、フィジカルアセスメントに対する人体構造機能学の効果、血中カルシウム濃度調節機構と脊椎動物の系統進化的並びに個体発生学的研究

准教授 高久 道子 課題研究

学位 修士(看護学)

研究テーマ等

・HIV感染症の予防
・在日外国人の健康課題に関する研究

助教 小久保 晃

学位 修士(理学療法学)

研究テーマ等

・摂食嚥下に関する研究
・ICTを活用した療養養成教育に関する研究

医療専門学校教員 秀山 正和

非常勤講師 箭野 育子

非常勤講師 近藤 直実

非常勤講師 近藤 邦代

令和7年度 大学院入学試験

1. 募集人員 看護学専攻 13名 (修業年限 2年)

(内訳) 看護学研究コース 4名 ・ 保健師コース 5名 ・ 助産師コース 4名 (女性に限る)

- ※ 募集人員は、学内選考・一般選抜・社会人選抜の入学者を含みます。
- ※ 在職者が修学するなど、標準修業年限2年での教育課程が困難な学生を対象とする「長期履修制度」があります。「長期履修制度」では、在学可能期間(4年間)の範囲内で、1年単位で履修期間を定めることができます。

2. 選抜区分

選抜区分は、一般選抜と社会人特別選抜*の2種類があります。

- ※ 社会人選抜に出願することができる者は、通算1年以上(令和8年3月31日までの見込みを含む)の実務経験を有する者(注:実務経験とは保健師、助産師、又は看護師にいずれかの免許を取得したうえ、看護職として携わった経験のことを言う)とする。なお、助産師コースは、女性のみ出願を可能とする。

個別の入学資格審査について

本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者(例えば、看護系、看護師の養成課程の短期大学(専攻科を含む)、専修学校、各種学校等の卒業生・修了者等大学卒業資格を有していない者であっても、看護師としての臨床経験1年以上を本研究科において個人の能力の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者)

入試区分	申請期間	結果通知
I期	令和7年7月28日(月)～8月4日(月)必着	令和7年8月7日(木)
II期	令和7年11月3日(祝・月)～11月10日(月)必着	令和7年11月13日(木)
III期	令和8年1月19日(月)～1月26日(月)必着	令和8年1月29日(木)

3. 入試日程

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
I期	令和7年8月19日(火)～8月28日(木)必着	令和7年8月31日(日)	令和7年9月5日(金)
II期	令和7年11月17日(月)～12月3日(水)必着	令和7年12月7日(日)	令和7年12月12日(金)
III期	令和8年2月2日(月)～2月18日(水)必着	令和8年2月21日(土)	令和8年2月26日(木)

出願を希望する方は、事前に志望する専門分野・領域の指導教員と面談し、入学後の研究内容や履修計画について相談してください。この面談は、円滑に学びを進めるために必要なものです。

4. 選考方法

- 1) 小論文(英文読解を含む)
- 2) 専門科目(看護専門科目を解答する。)
- 3) 口述試験(これまでの研究の概要、今後の方向性を口頭発表する。)

※社会人特別選抜の受験者は、1) 小論文試験が免除となります。

5. 入学初年次納入金

	看護学研究コース	保健師コース	助産師コース
入学金	200,000円	200,000円	200,000円
授業料(1年次前期分)	600,000円	700,000円	700,000円
施設設備費(1年次前期分)	200,000円	200,000円	200,000円
教育充実費(1年次前期分)	—	100,000円	300,000円
入学時納入金 合計	1,000,000円	1,200,000円	1,500,000円

